

【事業者編：事例①】

(株)アビツ

- ・所在地：愛知県名古屋市
- ・資本金：2億7,000万円（東証1部上場USSグループ）
- ・従業員：165名



★小型家電等の解体・破碎処理の内容は？

- ①搬入された小型家電は事前選別にて電子基板等に含まれる貴金属の含有量により高品位と低品位に選別。
- ②高品位材料は手分解を行い、基板・非鉄・鉄・その他に分別されそれぞれ破碎して各メーカーへ売却。
- ③低品位材料は粗破碎を行い鉄を除去したあとで篩いによりサイジングを行い渦電流選別機にてアルミを除去後、金属探知機選別機によりプラスチックと金属含有片とを選別し、金属含有片は細破碎して鉱山会社へ売却。



★小型家電等をどのように処理したら有価売却できるようになるのか？

- ・回収した対象物を売却物の価格を見極め手間をかける部分と手間をかけずに機械加工する部分とを分けることによりいい物はより高く、悪いものは最低限売却できるものにしてトータルの売却価格で小型家電全般を資源循環の環に乗せることができる。

- ・機械による加工は最短で行い、回収の目的物を明確にすることにより純度の高い資源を回収し、必要以上の破碎を避け外殻のプラスチックを回収することにより、より付加価値を上げることができる。



★また、どうして有価で引き取れるの？

- ・鉄は鉄鋼メーカーへ売却
- ・アルミは2次合金メーカーへ売却
- ・非鉄金属は非鉄製錬メーカーへ売却
- ・基板等の貴金属含有滓は各鉱山会社へ売却
- ・プラスチックは燃料と再生材に分別して主にPPは再生メーカーへ売却、燃料は鉄鋼還元剤として鉄鋼メーカーへ売却

■提携自治体

①安城市 ②一宮市 ③常滑武豊衛生組合 ④多治見市

■問い合わせ先

株式会社アビツ 金属プラスチックリサイクル事業部

電話：052-619-6600